

真言院 寺報

平成 28 年 7 月号



真言院の

「これ知ってる??」

修行大師像

昭和 62 年建立のこちらの像は「修行大師像」といいます。網代笠をかぶり、右手には金剛杖と呼ばれる杖を持っています。自らの足で全国各地を歩き、苦しむ人や悩める人のために生涯を捧げられたお大師さまのお姿を表した像です。



ペット（犬・猫）の供養いたします

「ペットのお骨はどうしたらいいのでしょうか?」とご相談をいただきます。

最近では、ペットも人間家族同様に亡くなったときは火葬をして遺骨とされることが多くなりました。ご家庭に骨壺を安置し供養することもできますが、真言院には本堂裏の墓地にペットの為の合同供養塔があり、ペットのご遺骨を埋葬することができます。

埋葬・永代供養料 一万円

また、ペットが亡くなった際にも、枕経をお勤めして供養いたします。大切な家族の一員のものしものときには、どうぞ遠慮なくご相談ください。



<発行元> 金胎山 真言院

北海道虻田郡真狩村字真狩 102 番地

(TEL) 0136-45-2644

(FAX) 0136-45-3035

(メールアドレス) myosho@shingon-in.jp

(ホームページ) <http://www.shingon-in.jp>

法要案内

7月15日(金) 午後1時より

しゅうそこうぼうだいし
宗祖弘法大師
ごたんじょうえほうよう
御誕生会法要



を勤修いたします。

正午より 昼食のご接待

婦人部手作りの美味しい昼食をご用意しております。

午後1時より 本堂にてお勤め

午後2時より 法話

室蘭市 大正寺 副住職

松尾 法幸 僧正

※ 塔婆供養 (一供養 五百円)
受付いたします



しょうみえく 正御影供法要を行いました

3月20日、正御影供法要が行われました。正御影供法要とは、お大師さまのお姿（御影）を掲げてお大師さまへの報恩感謝の祈りを捧げる法要です。私を含め4名の僧侶と参詣の皆さんと皆で声を揃えて「弘法大師和讃」をお唱えいたしました。



法要のあと、仁木町の健康運動指導師の岸本和歌先生を講師にお招きし、恒例の健康体操をしました。軽



快な音楽と岸本先生の元気な声、そして皆さんの楽しそうな笑い声にお寺が包まれました。

お釈迦さまのお誕生を祝いました

キリスト教の教祖イエスの誕生日は12月25日でクリスマスですが、では仏教の教祖お釈迦さまの誕生日について知っていますか。お釈迦さまの誕生日は4月8日、お釈迦さまのお誕生を祝う行事を「花まつり」といいます。



真狩村仏教会では今年61回目の花まつりが5月22日に行われました。夏のような陽気の下、元気な可愛いお稚児さんたちと徳成寺から真言院までパレードをし、真言院にて法要を行いました。お稚児さんがいるとお寺がとても華やかで賑やかになります。お釈迦さまの誕生お祝いになりました。



ほとけの こどもたち



四月二十二日にお寺の家族が増えました。このコーナーを借りて我が家のこどもたちを紹介します。

のぞみ 希(4歳) ゆうた 優太(2歳)
ひさし 寿(2か月)

世話好きの長女と、最近おしゃべりが止まらない長男、そして上二人がどれだけ騒いでもぐうぐう眠っている次男です。法要中に突然鐘を鳴らしたりお騒がせしていますが、これからもどうぞよろしくお祈りします。

尼僧のわたし

「お寺は縁起の悪いもの？」

私の心がチクンと傷ついた出来事がありました。ある日の法事でのこと、読経が終わり、私も一緒にお齋をいただくことになりました。私の席はいちばん上座に設けてくださったので、私はそこに着席しました。私の隣の席が空いていたので、施主さんがある方に、「〇〇さん、お寺さんの隣に座ってください。」と声を掛けていました。するとその方はこうおっしゃいました。

「俺はいいよ～。こんなお寺さんの近くに座ったら、早くお迎えが来ちゃうよ～。」

おそらく謙遜や遠慮の意味だったのだと思います。しかし、それを聞いた私は（私ってそんなに縁起の悪い存在なのかなあ…。）と悲しい気持ちになりました。

キリスト教や教会といえば結婚式、神社といえばお正月の初詣、仏教やお坊さんといえばお葬式、そんなイメージがあるかもしれませんが、お寺や僧侶はお葬式のためにあるわけではありませんし、亡くなった方の供養だけがお寺や僧侶の役割ではありません。お釈迦さまの教えを伝え「みなさんが心豊かに生きてもらうために」と考えているのが私たち僧侶です。おうちにある仏壇だって先祖供養のためだけのものではありません。仏壇の中の仏さまたちは、おうちの皆さんを守ってくれる存在です。「今日も一日無事に過ごせますように。いい日になりますように。」と手を合わせてみてください。

仏教は幸せに生きるためのものです。私も僧侶としてそれをもっともっと伝えていかなければいけないと思っています。

それでは今日もよい一日を。

